

平成21年度
事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名	高石商工会議所		
	代表者職・氏名	会頭 谷本 陽蔵		
	所在地	〒592-0014 高石市綾園2丁目6番10号		
	担当者	職・氏名	相談課長 七野 雅和	
		連絡先	電話番号(直通) : 072-264-1888	
Fax : 072-261-7676				
		E-mail : tcci@gold.ocn.ne.jp		
設立年月日 職員数 (うち経営指導員数) 所管地域 管内事業所数 管内小規模事業者数 会員数(組織率)		昭和58年4月1日 13名(経営指導員5名) (平成22年3月31日現在) 高石市 2,025(平成18年事業所統計調査による) 1,629(平成18年事業所統計調査による) 1,113(54.9%)(平成22年3月17日現在)		
については直近の数字を記載のこと につ				
主な事業概要(定款記載事項等)				
(1) 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (2) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (4) 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。 (5) 商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。 (6) 輸出品の原産地証明を行うこと。 (7) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 (8) 商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。 (9) 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。 (10) 博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 (11) 商事取引に関する仲介又はあっせんを行うこと。 (12) 商事取引の紛争に関するあっせん、調停又は仲裁を行うこと。 (13) 商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。 (14) 商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。 (15) 商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること。 (16) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 (17) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 (18) 前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。				

各種データ

高石商工会議所

経営指導員の相談

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	26	4	33	3	41	1	0	0	0	108	54	社 社
建設業	0	28	1	24	8	33	0	0	0	0	94	62	
小売業	0	130	15	63	18	17	0	0	0	0	243	108	
卸売業	0	9	2	2	2	6	0	0	0	0	21	11	
サービス業	0	95	23	78	23	53	1	0	0	2	275	132	
その他	0	11	2	6	4	3	0	0	0	0	26	16	
小計	0	299	47	206	58	153	2	0	0	2	767	383	
創業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
合計	0	301	47	206	58	153	2	0	0	2	769	385	352

その他の内訳

〔特許出願〕

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	10	2	35	40	106	0	0	0	0	193	63	社 社
建設業	0	24	7	88	145	131	0	0	0	0	395	147	
小売業	0	39	4	59	196	30	2	0	0	0	330	153	
卸売業	0	5	0	3	20	21	0	0	0	0	49	21	
サービス業	2	42	9	86	312	137	2	0	0	1	591	264	
その他	0	5	1	12	76	3	0	0	1	0	98	72	
小計	2	125	23	283	789	428	4	0	1	1	1,656	720	
創業	0	5	0	6	3	1	0	0	0	0	15	11	
合計	2	130	23	289	792	429	4	0	1	1	1,671	731	607

その他の内訳

〔特許出願〕

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP(事業継承計画)、CSR(企業の社会的責任)など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

高石商工会議所

(1) 事業の目標

本市域の事業所は、地域に密着した卸・小売業やサービス業、建設業、近隣地場産業の下請けを始めとする製造業が多くを占めている。小規模事業者は、大規模小売店舗の進出や海外製品との競争、また製品単価の切り下げや原油材料の高騰等により厳しい経営環境にあり、まずは事業の存続を念頭において全力を傾けているのが実情である。昨年度に引続き、人材育成事業（ITセミナー、簿記講習）、自社の有する優れた技術やサービスや地域に存在する様々な資源を活用したマップ・冊子の作成、泉北地域就職フェア、商工フェスティバル、楽市楽座等の実施により小規模事業者の支援を行う。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

・(定額給付金セール) 地域振興・消費拡大を主旨として国から支給される定額給付金給付の機会を利用し、種々の販売促進を実施する事業所につき販促内容を本所HPで周知する等、事業所の経営活動を支援した。本所HPを見たとする来客は少なかったが、配付されたポスターに加えてPOP等を独自に作成して店頭に貼り出すなど、事業所が工夫を凝らして周知を図った。・(求人・求職マッチング事業) 当事業に積極的に参加していただくよう事業所にチラシ・HPでPRし、巡回訪問の際にも雇用の受け皿となる事業所に参加を呼びかけた。・小規模事業者が求める各種情報等の内容に即したセミナー・講演会を開催した。なかでも、「新型インフルエンザ対策特別講演会」の実施には102名の参加があり、急務となっていた新型インフルエンザ対応計画の策定支援に貢献した。・商店街活性化事業の一つである高石楽市楽座「羽衣七夕まつり」が開催10周年を迎える今年度は、「古き良きあの頃」をテーマとした企画を実施したところ好評を得るなど、商店街の活性化が図られた。・総務省が「オンライン申請」を推進するため開催した講習会についても、会場の確保や所報でのPRにより積極的に協力をおこなった。

(3) 事業を実施した効果

・定額給付金セールにより、販売促進活動を継続して行う必要性を理解していただき、一定の販促効果が得られた。・求人・求職マッチング事業は市内事業所だけでは件数が少ないため今まで実施されずにいたが、大阪府・高石市・泉大津市・忠岡町・商工会議所・商工会・ハローワークとの合同によりこのたび開催が実現した(11月19日)。求人募集企業19社、来場者400名、採用17名と全体数は少ないものの、南大阪地域で開催される同様の相談会における実績を上回る結果となった。小規模事業者の優秀な人材確保を支援するため、今後も事業の継続が必要である。・巡回指導の際、セミナー・講演会に関するアンケート調査を行い、本所と小規模事業者との意思疎通を図るためのツールとして役立つだけでなく、事業所が抱える課題や疑問を引き出すきっかけにもなった。・商店街活性化を図るため市民・各種団体・市行政・大学・商店街を中心とするイベントを開催し、地域における商店街の役割が改めて地域に認識された。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

・未接触の事業所や新規開業者を含む市内各事業所を巡回指導しているが、商工会議所が行う事業・取り組み等を認知していない事業者が多い。・長引く不況の中、事業所が優秀な人材を確保することが困難となっている。・各種セミナーについては、その実施内容について、受講者より宿題が投げかけられている。・地域活性化を図るため、参加型のイベントを実施し、年々好評を得ているが、南海本線連続立体高架事業に伴い、昨年11月より上りが仮線運行しており、イベント開催場所の確保が困難となっている。

(5) 来年度への取り組み

・案内チラシ配布やHP掲載、所報市内版を活用して商工会議所事業をさらに積極的にPRする。・人材育成支援の一環として、基礎的な経営管理の習得を目的とした簿記講習会など事業者・従事者のニーズに即した講習会を実施する。・地域参加型のイベントの開催につき、地域の協力を得ながら使用する道路(歩行者天国)を変更するなどして開催場所を確保する。・その他、市行政・商工会議所・商業者の連携及び事業者間の交流・連携をより一層深め、危機的状況を乗り越える施策、自社の優れた技術・製品・サービス、また地域に存在する様々な資源を活用したマップ・冊子を作成し、小規模事業者の支援などを行う。

高石商工会議所

一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

・施策のPR及び情報提供のため巡回訪問を行うことで、小規模事業者が抱える課題を把握することができた。巡回訪問という接触がなければ不明なままで終わってしまいかねない疑問や問題等を経営指導員が聴取し、ともに解決することにより、事業者の商工会議所への信頼感が増す。このような取り組みを継続的にいき、事業者の商工会議所への利用促進につなげたい。・巡回相談件数は目標に及ばなかったが、相談件数トータルでは目標件数以上の支援を行う結果となった。今後も地域小規模事業者と接触する機会を積極的に作るよう心掛ける。

事業名	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
巡回相談	相談件数	900	769	85.4%	89.0	5
窓口相談	相談件数	1,200	1,671	139.3%	84.0	5

課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

・(金融支援)所報等でのPRや巡回指導の重点目標として周知・啓蒙を行った結果、目標件数を達成し、制度が徐々に浸透していることを実感している。(記帳指導)経営指導員5名全員で支援を行い、目標件数を支援した。・(法務支援)当日の事前予約制とし、予約がない日は開催を中止したため目標支援回数に到達しなかった。会議所報、所報市内版、HP等により市内事業者等に広く周知し、積極的に利用していただくよう努める。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
金融支援	継続	支援件数	50	49	98.0%	94.0	5
記帳支援	継続	支援件数	50	50	100.0%	83.0	5
法務支援	継続	支援回数	12	5	41.7%	90.0	5
税務支援	継続	支援回数	12	12	100.0%	85.0	5
労務支援	新規	支援回数	1	1	100.0%	81.0	5
その他	継続	支援回数	6	6	100.0%	80.0	5

専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

・(IT人材育成)受講者が段階的にレベルアップできるよう、効果的にカリキュラムを設定した。表や計算式を使った資料の作成や様々な文書の作成、デジカメで撮影した画像の編集や印刷など、小規模事業者が事業経営を行う上で役立つ実践的なテーマで構成した。受講者募集の際、ほとんどのコースでキャンセル待ちが出ており、地域におけるIT学習の場として定着しつつある。今後も事業者・従業員を中心とするパソコン初級～中級者を支援する。(簿記講習会)初心者の簿記知識習得を目的とする。実施回数全13回で内容が充実しており、試験対策として良いタイミングで開催されることなどから受講希望者が多く、定員を超えて申込者全員を受け入れた。小規模事業者が優秀な人材を育成する講習会として今後も開講が望まれている。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	IT人材育成	継続	参加者	100	97	97.0%	81.0	5
	簿記講習会	新規	参加者	20	24	120.0%	83.8	5

地域活性化事業

支援のポイント・成果

(商店街活性化)市民多数の参加を呼びかけ商工業者の交流を深めながら、その躍進を期待し、推進していくことを目的として実施した。各駅周辺の商店街の活性化を図るため、地元商店街・自治会等が中心となり、七夕をテーマに「人が集まり、にぎわいを創りだす」イベントとして実施した。(地域ブランド戦略策定事業)10月より参加事業所を募集、11月中旬に事業所のPR内容等の審査にはじまり、冊子等の印刷まで一連の作成手順を終え、12月上旬の消費拡大が見込める時期に参加事業所あるいは駅、銀行、商業集積他の集客施設あて配布。(その他)急務となっている新型インフルエンザ対応計画の策定を支援するため「新型インフルエンザ対策特別講演会」を実施し、102名の参加があった。地域における情報提供の場として期待されている。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
○	地域ブランド戦略	継続	参加事業所数	50	45	90.0%	80.0	5
	商店街活性化事業	新規	開催回数	2	2	100.0%	77.0	4
	地域活性化事業	継続	開催回数	1	1	100.0%	85.0	5
	その他	継続	開催回数	5	5	100.0%	79.0	4

高石商工会議所

事業名	地域ブランド戦略（一店逸品事業）				
新規/継続	継続				
想定している実施期間	平成20年（開始）～		年（終了）		今年度 2 年目
実施期間全体を通じて予定している事業計画	近隣市への超大型商業施設の進出により影響を受けている市内商業の活性化を図るため、平成20年度は商店街等魅力向上促進事業を活用して一店逸品事業を実施し成果を得た。今年度は事業所からの要望もあり、商業・サービス業に限定せず全業種について逸品を募集する。各事業所から寄せられた卓越した技能・技術・商品・サービスをマップ・冊子・ホームページで広くPRする。				
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果	事業の内容並びに逸品取扱い事業所を周知できるように高石市内一斉に新聞折込チラシを配布している。また参画する事業所以外にも主要な集客施設にガイドブックを常備し、周知が一層徹底されるよう事業を展開したところ、来店客から参加事業所への反響も見られ、活性化策としての成果が得られた。			
本事業の対象となる地域の現状や課題	近隣に超大型商業施設が新店し、市内商業の衰退は一層深刻となっている現状である。商工業の活性化が急務であり、日頃見逃されている市内事業所の優れた技術やこだわりの商品・サービスに着目し、これらを逸品として市内全域に広くPRする。連続して参画を希望する事業所は約8割を占め、毎事業後に新しい事業所から次回の参画を希望する意向が示されている。				
目標に対する実績	指標	参加事業所数			
	目標数値	50	実績数値	45	達成率 90.0%
目標	高石市内の事業所全般(製造業・建設業・商業・サービス業・飲食業)全業種対象。参加店を募集し各業種10店舗を目標に実施する。				
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	実施期間：平成21年9月（開始）～平成22年2月（終了） ・事業の周知および参画事業所の募集 ・逸品マップチラシの作成 ・逸品ガイドブックの作成 ・逸品取扱い点を示すステッカーの作成 ・逸品ガイドブックの配布				
マスコミ等に取り上げられた回数	なし				
PR方法とその影響	事業の内容並びに逸品取扱い事業所を周知できるように高石市内一斉に新聞折込チラシを配布した。また参画する事業所と主要な集客施設にガイドブックを常備したところ、周知が一層徹底された。なお、連続して参画を希望する事業所は約8割を占め、毎事業後に新しい事業所から次回の参画を希望する意向が示されている。				
利用者満足度（点）	80				
事業評価	5				
実施した効果	参画事業所において新規顧客が訪問されるなど、消費者からの反響があったことを聴取している。一方、ガイドブックへの掲載にあたり、自店を客観的に捉え、その特長や持ち味を再認識する機会となり、各事業所代表者・従業員・後継者の意識改革にもつながった。自店に誇りを持ち、品質・サービスの向上を心掛けるようになったとの声も聞かれたことから、当事業は継続して実施することにより、徐々にではあるが確実に効果が表れるものと思われる。				
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	本事業は、継続して根強く取り組んでこそ効果が表れるものと思われるので、長期的な視野で捉えたい。作成物については、対象となる消費者への「分かり易さ」がキーポイントであり、マップチラシを大きく見やすくしたいが、予算的に現状では適わない点。				
事業全体の収支状況	収入				支出
	参加料	450,000	食糧費	5,400	
	大阪府補助金	572,480	会館使用料	10,600	
	会議所負担分	122,480	宣伝広告費(印刷費)	979,230	
			宣伝広告費(委託料)	148,040	
		消耗品費	650		
		通信運搬費	1,040		
計	1,144,960	計	1,144,960		